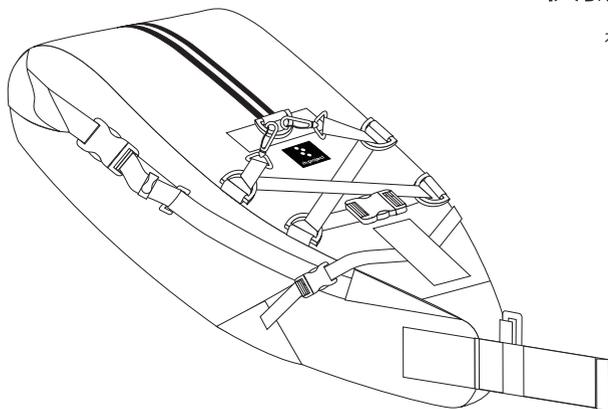


取扱説明書

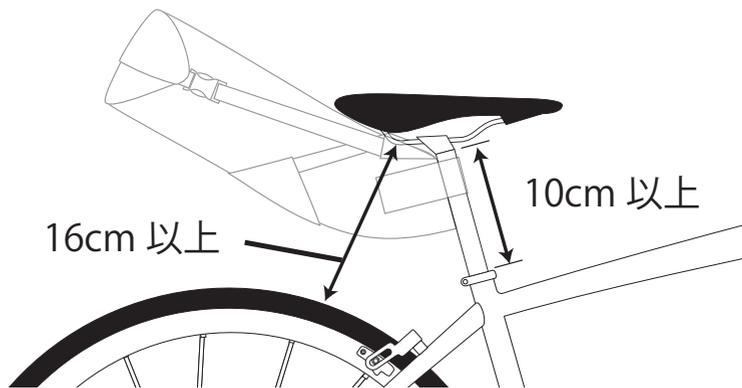
初版発行：2017.10.12
3版発行：2021.03.15



本書を熟読頂き、製品の特徴を
ご理解頂いた上でご利用下さい。

rh project

取り付け可能サイズ



！ 注意

取り付け可能サイズに満たない場合は、バッグがタイヤと接触し、
摩擦で穴が開く場合がございますのでご利用いただけません。

使用上の注意 製品の破損や事故を防止するため必ずお守りください。

！ 正しい取付方法を守る

※製品とタイヤが接触し破損や事故の恐れがあります。

！ ストラップは確実に締め、緩みがない状態で使用する

※製品とタイヤが接触すると破損や事故の恐れがあります。悪路や長距離走行時は振動で緩む可能性があります。収納物が多い場合はバッグが揺れ、車体と接触する原因となりますので、定期的に緩みなく締まっているか確認してください。

！ 本製品は防水ではありません

※濡れて困るものは防水バッグ等を併用してください。

⊘ 破損や亀裂の入った製品は使用しない

※製品は定期的に点検してください。

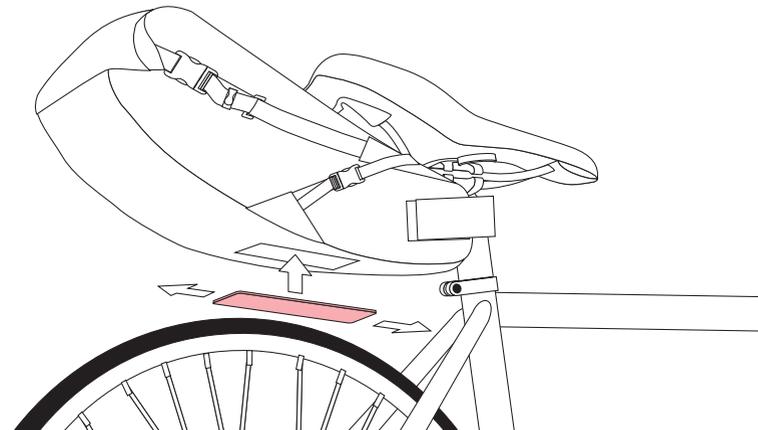
⊘ 振り回したり勢いをつけて持ち上げない

○汚れは湿らせた布で軽く拭きとってください。丸洗いや薬品での拭き取りはお避けください。雨や泥染みなど繊維の奥に入り込んだ汚れが落ちないこともございます。

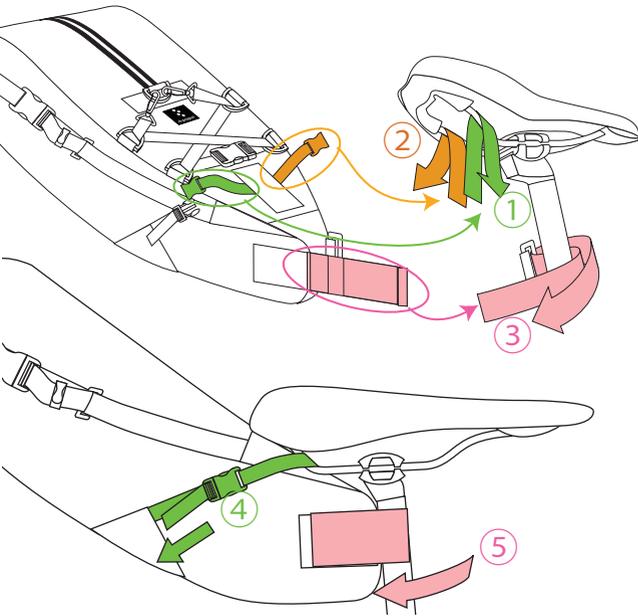
タイヤプロテクター

万が一タイヤが接触した場合にバッグの底面を守ります。

面ファスナー（マジックテープ）で装着されていますので、タイヤの位置に合わせて位置を前後させてください。

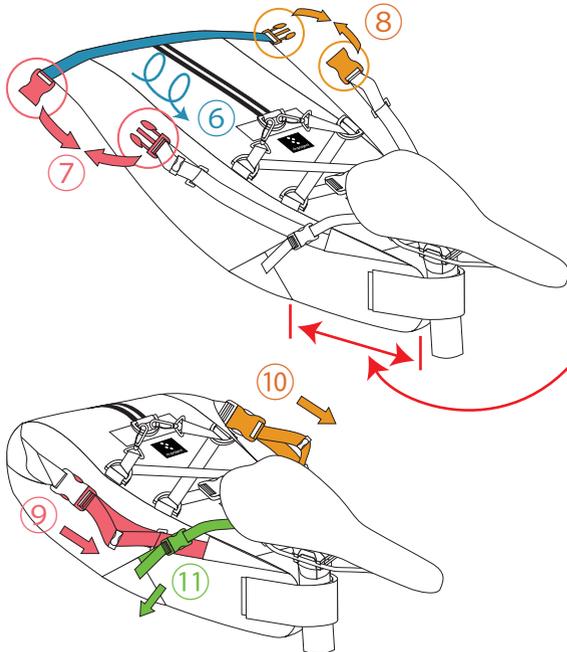


自転車への取り付け方法



- ①② サドルのレールにストラップを通します。
- ③ シートポストにストラップを取り付けます
- ④ バックルを閉じ、ストラップを締めます (反対側も同様に行います)
- ⑤ シートポストのストラップを締め、バッグを密着させます。

荷物の入れ方と、トラベルサドルバッグの閉じ方



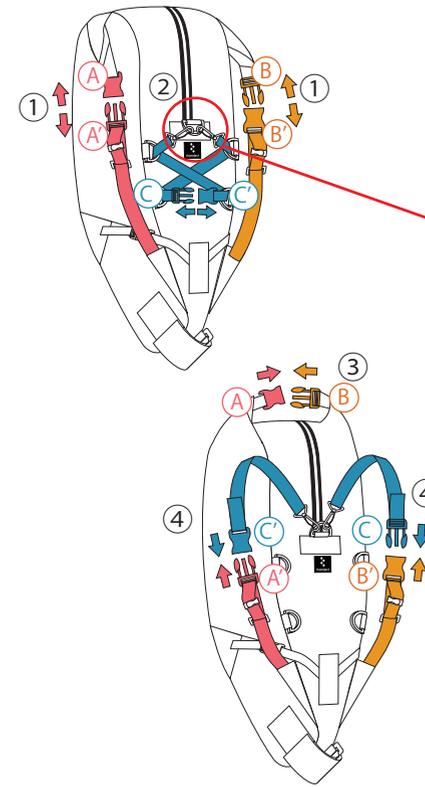
- ⑥ バッグを圧縮するように、口元をしっかりと巻き、
- ⑦⑧ 左右のバックルを閉じます。

バッグの先端部分に替えチューブや輪行袋などを隙間無く詰め、形状を安定させると、走行中にバッグとタイヤの接触を防ぐことができます。

- ⑨⑩ 圧縮ストラップを引き、バッグをしっかり圧縮します。
- ⑪ ストラップ (反対側も) の緩みがないことを確認して完成。

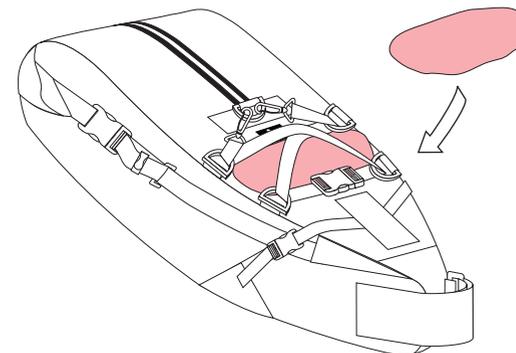
リュックサックとしての利用方法

輪行時にトラベルサドルバッグを両肩で背負って移動できます



- ① 圧縮ストラップから左右のバックルを外します。図 (A - A'), (B - B')
- ② 肩ストラップのバックル (C - C') を外し、赤丸部分のプラフックを残して抜き取ります。
- ③ 口元のバックル (A - B) を閉じます。
- ④ 肩ストラップと圧縮ストラップをつなげて (C' - A'), (C' - B') 完成です。

肩ストラップの活用法



走行中は肩ストラップを利用して、ウィンドブレーカーや濡れたポンチョやレインスーツ等をバッグ上部に固定できます。